

# 鎌倉響楽団

第87回定期演奏会  
2006年6月24日(土)  
午後2時開演  
鎌倉芸術館

[後援] 鎌倉市教育委員会・鎌倉エフエム放送

指揮 / 三原 明人 (みはら あきひと)



1961年東京生まれ。ヴァイオリン、ピアノ、作曲を学び、東京芸術大学でヴィオラを専攻、その後桐朋学園とウィーン国立音楽大学で指揮法を小沢征爾、秋山和慶、尾高忠明、カール・エスティライヒャー、ヴァーツラフ・ノイマン各氏に師事。さらにイタリアのシエナでゲンナジ・ロジェストヴェンスキイ、アッジシでモーシー・ツツモン、ドイツのハレでペリベルト・バイセル各氏に師事。1989年、オランダで行われた第2回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールで第2位、1993年ドイツ・ハレで開かれた若手指揮者育成のための「DIRIGENTENFORUM」で最優秀ファイナリスト、1996年ボルトガルで行なわれた第8回リスボン国際青年指揮者コンクール第3位(1位なし)入賞。

在学中より東京室内合奏團を組織するなど指揮活動を始め、またヴィオラ奏者としても活躍。1985年ニューヨーク・カーネギーホール主催の現代日本作曲家コンサート、武満徹プロデュースの「ミュージック・トゥデイ」などに出演。その他サイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとしてヨーロッパ・ツアーに参加などしていたが、1989年アムステルダムでチャイコフスキイの悲愴交響曲を指揮してデビュー。以降指揮活動に専念。

1989/1990のシーズン、ウィーン・フィルのコンサートでレナード・バーンスタインのアシスタントを務め、1991年よりオペラ作品などで外山雄三、広上淳一各氏のアシスタント、1996年ベルリン・フィル来日公演でクラウディオ・アバドのアシスタントを務めるなど研鑽を積みながら、ヨーロッパと日本を中心活動。これまでにオランダ放送フィル、ドイツ・ハレ国立フィル、アバストマップフィル、リスボン・メトロポリタン管、フィンランド・クオビオ響、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、日本フィル、東京フィル、東京交響楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、神奈川フィル、名古屋フィル、オーケストラアンサンブル金沢、大阪センチュリー響、広島交響楽団などを指揮して、コンサート、TV、ラジオなどへの放送録音、CD・映画音楽製作など各方面から高い評価を得ている。名古屋二期会ではモーツартのオペラの演奏会形式上演を指揮、また東京国際音楽コンクール声楽部門優勝のアレクセイ・レブチンスキイのコンサートをサポートするなど、オペラの分野にも積極的に活動。1991年には愛知県立芸術大学管弦楽団指揮者として後進の育成にも努めた。

1997年フィンランド・クオビオ響を率いて日本公演を行い、13曲にも及ぶオール・シリエウス・プロを指揮して各方面から高く評価された。1998年にはブルガリアの名門ソフィア・フィル定期にデビュー、ベートーヴェン、ブルームズなどの交響曲でソフィアの聴衆を熱狂させた。2003年には阪神大震災被災児童救援のためのチャリティ・コンサート「続けなければ続かない」(大阪)に出演、十河陽一作曲の新作「木漏れ日、そして祈り」(初演)などを指揮し、新聞各紙に大きく取り上げられた。2004年には京都フィル定期にて、ビニヤコのマリンバ協奏曲の日本初演を含む現代音楽のみによるプログラムを指揮、特に武満の「トゥリーリ・ライン」とシェーンベルクの室内交響曲は京都新聞、音楽の友誌上で絶賛された。ソリストとの共演も多く、数多くの日本人アーティストの他、ライナー、ホーネック、ヤーノック・クーシスト(バイオリン)、トーマス・デュエーブショーバッカ(チェロ)、ヨルマ・シルヴァスティ(テノール)、ヤーノック・リュハネン(バス)などから多大の信頼を寄せられている。今後の活躍が期待される、注目の指揮者の一人。

今回の演奏会にあたり、ご指導いただいた先生がたく教説略>  
新井久雄、木原亜土、橋山光彦、小泉智彦、平林剛、松田義生

JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2  
(やまとビルB1)  
TEL.(0467)22-4105

茅ヶ崎市中海岸1-1-58  
(大黒ビル1F)  
TEL.(0467)87-1145

# 鎌倉交響楽団第87回定期演奏会

Kamakura Symphony Orchestra The 87th Regular Concert

[指揮]：三原明人  
Akihito MIHARA, Cond.

## 交響曲第4番変ロ長調作品60 Symphony No.4 in B flat major

L.van. ベートーヴェン  
L. van. BEETHOVEN

-----休憩 Intermission -----

## 楽劇「ニーベルングの指環」より from "THE RING of Nibelungs"

① 森のささやき（楽劇《ジークフリート》より）  
Forest Murmurs from 'Siegfried'

② 夜明けとジークフリートのラインへの旅  
(楽劇《神々のたそがれ》より)

Dawn and Siegfried's Rhine Journey from 'Götterdämmerung'

③ ジークフリートの死と葬送行進曲  
(楽劇《神々のたそがれ》より)

Seigfried's Death and Funeral Music from 'Götterdämmerung'

④ 終曲（楽劇《神々のたそがれ》より）  
Final Scene from 'Götterdämmerung'

R.ワーグナー  
Richard WAGNER

## プログラム・ガイド

### ベートーヴェン 交響曲 第4番 変ロ長調 作品60

この曲はベートーヴェンの交響曲の中では第3「英雄」と第5「運命」に挟まれているものもあるって比較的地味な存在に見えるが、力強さ・たくましさの中に、9曲の中でも特にロマン的な女性的ともいえる叙情を持った名曲である。次の、結果的には第5番の作曲を中断してこの曲に専念し、ベートーヴェンとしては珍しく短時間で一気に書き下ろした作品だったようである。

また、かのシューマンは、この曲が「英雄」と「運命」の間にあることから「二人の巨人に挟まれた美しいギリシャの乙女」と評した。

この4番は当初あまり評判が良くなかった。その理由の一つは、楽器編成が3番「英雄」に比べ縮小された編成になっており、それまでベートーヴェンが次々と発表する作品において常に旧作を凌ぐ規模の拡大と表現力の増強を見せてきたのを知っている聴衆の期待を裏切ったからであると推測される。そしてその編成縮小は、この曲が「交響曲第2番」を好む者オッペルスドルフ伯の依頼で書かれた作品なので、その2番に準じた規模にしたため、と言わわれている。

この曲が作曲された1806年は多作の年であり、ピアノ協奏曲第4番・ヴァイオリン協奏曲もこの年に作曲され、弦楽四重奏曲「ラズモフスキ」の作曲に着手した年でもあった。第3交響曲の作曲が始まった1802年頃からピアノ・ソナタ「ワルトシュタイン」「熱情」、唯一の歌劇である「フィデリオ」などの名曲が生まれ、この時代は一般に「ベートーヴェンの傑作の森」というロマン・ローランに名づけられた名称で呼ばれている。

### ワーグナー 楽劇「ニーベルングの指環」より

ワーグナーの作った歌劇・楽劇は台本も全て彼自身が書き上げたものであるが、この代表的な大作「ニーベルングの指環」も例外ではなく、彼自身の1848年の台本着手から作品完成の1874年まで計26年をかけていた。(一時中断し、その間「トリスタンとイゾルデ」「マイスター・ジンガー」などが作曲・初演されている)。

「ライネの黄金」を序夜として、「ワルキリー」「ジークフリート」「神々のたそがれ」というそれぞれ独立した4つの楽劇から成り、実際には15時間ほどのこの曲の上演には4晩を要し、ワーグナー自身は「三日と一晩の序夜のための舞台祭典劇」と書いている。そしてその初演は、ワーグナーが自らのオペラの理想的な上演のために建設させたバイロイト祝祭劇場で「こけら落とし」として、そして現在も続いている「バイロイト音楽祭」の第1回目とのプログラムとして、1876年8月にワーグナー自身の演出とハンス・リヒターの指揮で行われた。

ところで「楽劇」とは、ワーグナーによって創始されたオペラ様式の一つである。番号を付けての整理が可能な独立したアリア・合唱などをレチタティーヴォでつなげて構成したそれまでの伝統的なイタリアオペラに疑問を持ったワーグナーは、劇の一貫した流れを尊重し、台本・音楽・演技・舞台などオペラの構成要素を融合したのである。

横浜銀行の横浜バンクカードの広告です。カードの特徴として「1枚4役!」が強調されています。右側にはカード機能の一覧が示されています：

- キャッシュカード機能
- ローンカード機能
- デビットカード機能
- クレジットカード機能

下部には、横浜バンクカードの特徴として「4つの機能をあわせ持った、とても便利な横浜銀行のキャッシュカードです。」と記載されています。また、電話番号「0120-188-824」や支店情報「鎌倉支店 TEL 0467-23-3131」も記載されています。

# プログラム・ガイド

ワーグナー自身はこの「楽劇」という言葉自体は好まなかつたが、1859年作曲の「トリスタンとイゾルデ」以降の作品は「楽劇」と呼ばれ、その後のオペラに大きな影響を与えた。そして「楽劇」という呼称はリヒャルト・シュトラウスやブフィッサーらに引き継がれている。

物語では、作者不詳の中世の英雄叙事詩「ニーベルングの歌」、北欧神話「エッダ」、その他の説話を合わせたもので、地下の小人族ニーベルンゲン、地上の巨人、天上の神々、主神ヴォーターンらが権力を象徴する呪いをかけられた黄金の指環をめぐって闘争をくりひろげた。ヴォーターンが支配する神々とアルベリヒトニーベルンゲン族との争い、ヴォーターンが人間に生ませた兄妹ジークムントとジークリンデの愛、娘ブリュンヒルデに寄せるヴォーターンの父性愛、神々の没落を救うべく生まれきた英雄ジークフリートの登場とブリュンヒルデとの愛、そしてジークフリートの死による神々の世界の終焉、までの描かれる。

ニーベルング（複数はニーベルンゲン）とは「霧の國の人」のこと、北欧神話で「死人の國」、即ち冥界・冥土を表す「森の國」に住む人々を言う。またヴォーターンは北欧神話の中に、ジークフリートとブリュンヒルデは「エッダ」の中に登場する人物である。

この曲の楽器編成は規模な4管編成で、極めて多様な色彩効果を出しており、ワーグナーが考案したとしたされる樂器「ワーグナー・チューバ」も使われ重要な役割を果たしている。

今日はこの4つの樂劇の中からのほんの一部、管弦樂曲に編曲された以下の曲が演奏される。

## ●第二夜 楽劇「ジークフリート」から

### ①「森のささやき」

この樂劇の中では唯一オーケストラ曲に編曲されている「ジークフリートが大蛇を退治する森の場面」を描写した樂器で、森のささやき・ざわめきが弦で、小鳥などが木管金管で表される。

### ●第三夜 楽劇「神々のたそがれ」から

### ②「夜明けとジークフリートのライ恩への旅」

夜が明け、ジークフリートが英雄修行の旅に出かける。そして諸国を軽快に旅するジークフリートの勇姿を伝え壮大なライ恩歌となるが、音楽が静まると次第に不吉な響きが混じってくる。

### ③「ジークフリートの死と葬送行進曲」

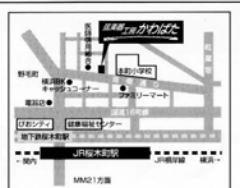
ジークフリートは、リバイルであり悪のヒーローとも言われるハーゲンに背中を槍で刺され、家臣に見守られる中で息絶える。周囲の人々はこの英雄の死を悲しみ、遺体は家臣たちに棺に乗せられ城に運ばれる。月の光の中、だんだん立ちこめる霧で葬列が見えなくなる。暗い重苦しい、そして莊厳な葬送行進曲が流れる。ワーグナーはそもそもこの「ジークフリートの死」を描きたいと思っており、この構想がついで「ニーベルングの指環」全体に拡大していったことを考えると、この葬送行進曲こそが序夜から始まる「4つの樂劇」の集大成の意味を持つていると言えるかもしれない。

### ④「終曲（フィナーレ）」

ヴォーターンの娘でジークフリートの妻ブリュンヒルデとの出会いから始まり、ライ恩の大混亂・ヴァルハル城の炎上など、大オーケストラ演奏の「フィナーレ」は、それまで何度も出てきた「愛の救済のテーマ」で終結となる。

《製作・修理・毛替・販売》  
弦樂器工房 **かわばた**

TEL045-261-5300 〒231 横浜市中区花咲町2-77 大久保ビル2F 営業時間/AM10:00~PM7:00 (日・祭休み)



## 団員出演者名簿

常任指揮者：古谷 誠一	コンサートマスター：五味 俊哉	マネージャー：芥川 敏/今城 信彦
名譽団長：日比谷 半一郎	事務局長：田中 幸一	桐本 主三/姫島茂樹
団長：山本 賢二	会計：曾根 民子	森 久仁子
ライブプラン：石橋 智子		

1st Violins	Violas	Flutes&Piccolo	Trumpets
小原 治子	阿部 明美	菊竹 秀夫	津金 勝枝
● 河原 寛	石川 まり	瀬島 美奈子	● 福地 稔栄
桐本 圭三	成島 純子	曾根 美樹	森 久仁子
五味 品子	小原 克馬	● 高橋 弘子	Trombones & Tuba
● 五味 俊哉	梶 成彦	中澤茉莉子	有賀 功
高橋けい子	● 佐々木敏史	Oboes	※ 一ノ宮和之
蛸島 茂樹	田中 順子	● 桑野 若菜	● 桜井 貞志
田代 優奈	中川 孝之	中橋 英純	瀬島 一海
富岡 陽子	中村 恵	山岸 一哉	府川 創作
中村 順子	正木 基身	山本 賢二	○ 煤孫さえ子
山岡 祐介	三門サカエ	Clarinets	Percussion
油谷 伸一	● 水上 清	内田千枝子	今城 信彦
※ 李 文佳		片山眞知子	● 太田 純
		● 鈴木 美緒	※ 鈴木 真吾
		望月 俊哉	※ 高橋 正彦
		Bassoons	蓑田 俊之
		鹿倉 健太	Harps
		松木 祐子	※ 杉山 敦子
		中野太一朗	※ 野畠 潤子
		三原 一真	
		● 西山 優子	
		● 矢吹 紀子	
		Double Basses	
		梅沢 定彦	
		大内 達郎	
		佐藤 正	
		中村 安孝	
		福島 晋哉	
		丸 陽子	
		矢野 健	
		Horns	
		芥川 敏	
		白井 賢司	
		露木 朋子	
		福地 伸希	
		※ 前田小百合	
		● 宮崎 敏幸	
		山崎 和之	
		山田 克彦	

●：パートリーダー

○：団友

※：賛助出演

## Implant Center KAMAKURA



田中歯科御成町

インプラント・審美歯科  
鎌倉駅西口みずほ銀行向かい・勝烈庵2階  
TEL&FAX 0467-24-0882 http://www.tanaka-dc.com/

鎌倉といえば…

# 鳩サブレー

豊島屋

鎌倉八幡宮前通り  
TEL 0467-25-0810(代)



世界で一番小さいデパート

**アトリエ K&T**

古布ちりめんの香袋など  
オリジナル商品、かわいらしいもの、素敵なもの、  
両手いっぱいにあります！

営業時間 / 11:00 ~ 17:00 定休日 / 月、火曜日  
〒248-0003 鎌倉市淨明3-2-27 TEL.0467-22-2615

フリーダイヤル 0120-50-2615  
<http://homepage3.nifty.com/k-t/>



街にいい風 あなたにいい風

**SHONAN**  
湘南しんきん

<http://www.shinkin.co.jp/shonan/>

©EIZIN SUZUKI

鎌倉交響楽団 演奏会のご案内

♪第41回室内楽演奏会

日時：2006年7月8日（土）14時開演予定  
場所：鎌倉生涯学習センター ホール 入場料：無料  
曲目：小編成のアンサンブルを予定しています。

♪第88定期演奏会

日時：2006年11月4日（土）14時開演予定  
場所：鎌倉芸術館 大ホール 入場料：¥1,000-（全自由席・当日券有予定）  
曲目：サンサーチス：「春の舞踏」  
 フォーレ：「ペアリスとメリザンド」  
 ベルリオーズ：「幻想交響曲」  
 指揮：井崎正浩

(有)関口調剤薬局

本店 横須賀市上町2-3

tel.046-824-5885

fax.046-824-9795

支店 横須賀市上町2-20

tel.046-826-2350

fax.046-826-2301

URL:  
<http://sekiguchi-pharmacy.co.jp>

和居酒屋 花のれん

▷ 営業時間 <

平日 PM4:30~AM12:00 休日 PM3:00~AM12:00  
大晦日・元旦 休業

△ (0467)-48-0088



信頼と確かな技術の店  
メガネの専門店

八幡宮通り

森川眼鏡店  
メガネの事ならなんでも相談

お気軽にお問い合わせ下さい。



健保・労災取扱

**大船  
接骨院**

佐藤 元一

大船駅東口ルミネ前

サトウビル

△0467(45)6700(代)

輸入楽譜専門店



KAMAKURA MUSICA

カマクラムジカ

TEL.0467-24-8766

FAX.0467-22-9755

〒248-0000 鎌倉市淨明2-1-33

e-mail : [info@kamakura-musica.com](mailto:info@kamakura-musica.com)

定休日：木・祝祭日

**TAKUZO**  
SHINYOKOHAMA

ここで見つかる、音

弦楽工房 弘和

〒222-0029 神奈川県横浜市北区日吉1497-1  
TEL/FAX.045-423-2333  
<http://vn.takuzo.com>

■講習会：10:00～18:00

■定休日：毎週水・祝祭日

クラリネット

レッスンしてみませんか？  
(フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-11-1-307

川下方 TEL 045-865-4885

片山クラリネット教室

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

**芋川耳鼻咽喉科クリニック**

鎌倉・小町壹番館ビル3階 院長 芋川英紀

電話 (24)7273